測定結果概要（第1回目）

1 調査地点

地点名	住所
青南いきいきプラザ	東京都港区南青山４丁目１０－１
やすらぎ会館	東京都港区南青山２丁目３４－１
西麻布いきいきプラザ	東京都港区西麻布２丁目１３－３
高陵中学校	東京都港区西麻布４丁目１４－８
本村小学校	東京都港区南麻布３丁目９－３３
白金小学校	東京都港区白金台１丁目４－２６

2 測定期間

令和３年６月４日～７月３日（３０日間）

南風運用実施日（２０日間）
※着色されている日が対象

2021 年　6 月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			

2021 年　7 月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

3 羽田空港Ｃ、Ａ滑走路着陸経路と調査地点の位置関係

青南いきいきプラザ
やすらぎ会館
西麻布いきいきプラザ
高陵中学校
本村小学校
白金小学校

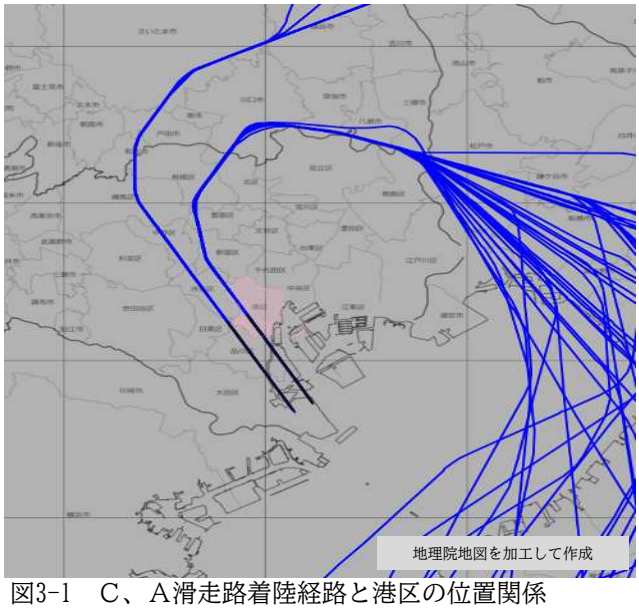

図3-1　Ｃ、Ａ滑走路着陸経路と港区の位置関係

図3-2　Ｃ、Ａ滑走路着陸経路と調査地点の位置関係

４ 国土交通省公表値との比較分析

本測定における最大騒音レベル（以下「実測値」という。）及び同平均値（以下「実測平均値」という。）と国土交通省が公表している最大騒音レベルの推計平均値（以下「推計平均値」という。）との比較分析結果を以下に示す。

表4-1　推計平均値（国が示しているもの）

高度［ｆｔ（ｍ）］	推計平均値［ｄＢ］					
	小型機		中型機		大型機	
	Ｂ７３８	Ａ３２０	Ｂ７６３	Ｂ７８８	Ｂ７７２	Ｂ７７３
2,500（760）	65	69	68	66	71	72
2,000（610）	68	71	71	69	73	74
2,000(610)～2,500(760)	65～71		66～71		71～74	

※推計平均値及び対象機体は（国土交通省発行『実機飛行確認における航空機騒音の測定結果について』を参照）

（１） 港区が測定した実測平均値と国が示した推計平均値の比較

各地点において、南風運用が行われた２０日間の機体別の推計平均値と比較した実測平均値を表４－２、機体サイズ別及び高度で幅を持たせた推計平均値と比較した実測平均値を表４－３に示す。

表4-2　機体別実測平均値

調査地点　高度［ｆｔ（ｍ）］	実測平均値［ｄＢ］						比較対象とした高度
	小型機		中型機		大型機		
	Ｂ７３８	Ａ３２０	Ｂ７６３	Ｂ７８８	Ｂ７７２	Ｂ７７３	
青南いきいきプラザ　2,526（770）	67.8(+2.8)	67.8(-1.2)	69.8(+1.8)	69.6(+3.6)	70.1(-0.9)	-	2,500ft（760m）
やすらぎ会館　2,461（750）	66.5(+1.5)	66.8(-2.2)	67.8(-0.2)	68.1(+2.1)	67.8(-3.2)	-	
西麻布いきいきプラザ　2,363（720）	69.2(+4.2)	69.4(+0.4)	71.1(+3.1)	70.9(+4.9)	70.4(-0.6)	-	
高陵中学校　2,304（702）	69.4(+4.4)	69.2(+0.2)	70.6(+2.6)	71.1(+5.1)	70.9(-0.1)	-	
本村小学校　2,060（628）	69.3(+1.3)	69.2(-1.8)	70.7(-0.3)	70.6(+1.6)	71.4(-1.6)	-	2,000ft（610m）
白金小学校　1,845（542）	67.0(-1.0)	66.9(-4.1)	68.6(-2.4)	68.3(-0.7)	68.5(-4.5)	-	

※推計平均値が着陸経路直下となるため、各地点ともに、着陸経路が近いＣ滑走路着陸機を対象とする。

※実測平均値が推計平均値を超えた値を着色

※実測平均値の右括弧は実測平均値と推計平均値の差

※今回の結果は、各調査地点と国が示す推計平均値を比較しているが、飛行高度、ならびに飛行経路からの距離等が異なるため、参考値となる。

表４－２の機体別の推計平均値と比較した場合では、白金小学校を除く各地点において、小型機（Ｂ７３８）及び中型機（Ｂ７８８）の機体で推計平均値超えが確認され、西麻布いきいきプラザと高陵中学校では４機体が推計平均値を超えていた。白金小学校においては、着陸経路から離れていることもあり、全ての機体で推計平均値を下回っていた。

表4-3　機体サイズ別実測平均値

調査地点	実測平均値［ｄＢ］			比較対象とした高度
	小型機	中型機	大型機	
青南いきいきプラザ	68.1	70.1	69.9	2,500ft（760m）
やすらぎ会館	66.5	67.9	67.9	
西麻布いきいきプラザ	69.3	71.0	70.6	
高陵中学校	69.5	71.2	70.9	
本村小学校	69.2	70.7	70.2	2,000ft（610m）
白金小学校	67.0	68.8	68.2	

※推計平均値が着陸経路直下となるため、各地点ともに、着陸経路が近いＣ滑走路着陸機を対象とする。

※青南いきいきプラザ、高陵中学校、本村小学校は、2,000～2500ft内における実測平均値を算出した。

※白金小学校は、1,500～2,000ft内における実測平均値を算出した。

※実測平均値が推計平均値を超えた値を着色

※今回の結果は、各調査地点と国が示す推計平均値を比較しているが、飛行高度、ならびに飛行経路からの距離等が異なるため、参考値となる。

表４－３の機体サイズ別及び高度で幅を持たせた推計平均値と比較した場合では、高陵中学校の中型機で推計平均値を超えており、その他の地点では推計平均値を超えなかった。

5 まとめ

（1） 地点別測定結果

南風運用時の羽田空港着陸機を対象とした地点毎の測定結果を表５－１に示す。

表5-1　測定結果

調査地点	実測値［ｄＢ］						騒音発生回数［回］			高度	
	全体		Ｃ滑走路着陸機		Ａ滑走路着陸機		全体	Ｃ滑走路着陸機	Ａ滑走路着陸機		
	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値				［ｆｔ］	［m］
青南いきいきプラザ	73.9	68.6	73.9	68.7	61.7	59.9	686	680	6	2,531	771
やすらぎ会館	72.8	68.0	72.8	67.2	－	－	463	463	－	2,464	751
西麻布いきいきプラザ	76.5	70.0	76.5	70.0	－	－	662	662	－	2,364	721
高陵中学校	75.6	70.0	75.6	70.2	63.4	59.7	781	731	50	2,302	702
白金小学校	74.2	67.4	74.2	67.6	67.4	63.4	789	708	81	2,057	627
本村小学校	76.9	69.8	76.9	69.9	60.8	58.3	750	725	25	1,844	562

※高度はＣ滑走路着陸機の平均高度

本測定における実測値の最大値は、本村小学校の７６．９ｄＢであり、騒音発生源は大型機のＢ７７Ｗであった。

全体の実測平均値は、西麻布いきいきプラザ及び高陵中学校が最も高く、７０．０ｄＢとなり、最も低かった地点は、白金小学校の６７．４ｄＢであった。Ａ滑走路着陸機を除くと実測平均値は、飛行経路に近く、且つ羽田空港に近づく（平均高度の低下）に連れて高い値となった。値としては、高陵中学校の７０．２ｄＢ、続いて西麻布いきいきプラザの７０．０ｄＢ、そして本村小学校の６９．９ｄＢとなった。

やすらぎ会館及び白金小学校については、両滑走路着陸機の飛行経路から離れているため、他の３地点に比べて、実測平均値は低い値となった。

（2） 国土交通省公表値との比較分析

国土交通省が公表している推計平均値と本測定における実測平均値を６機体（大型、中型、小型で各２機体）で比較した結果、青南いきいきプラザでは３機体（Ｂ７３８、Ｂ７６３、Ｂ７８８）、やすらぎ会館では２機体（Ｂ７３８、Ｂ７８８）、西麻布いきいきプラザと高陵中学校では４機体（Ｂ７３８、Ａ３２０、Ｂ７６３、Ｂ７８８）、本村小学校が２機体（Ｂ７３８、Ｂ７８８）が推計平均値を超え、この中でも特にＢ７３８（小型）とＢ７８８（中型）は各地点で推計平均値を超えていた。

また、白金小学校においては、着陸経路から離れていることもあり、全ての機体で推計平均値を下回っていた。大型機のＢ７７３については、欠航便や退役が徐々に進んでいる影響から、今回の測定で観測することはなかった。

（3） その他就航状況等

本測定期間中における羽田空港への到着便予定数は、国内線、国際線を合わせて１９，９８７回であったのに対し、着陸数は１１，０５７回であり、就航率は５５．３％であった。羽田空港Ｃ滑走路着陸機の大きさ割合は、大型機６．４％、中型機３０．４％、小型機６３．２％であった。通常運行時の割合と比べると、小型機の割合が多く、大型機の割合が少ない結果となった。

（4） 本測定結果での留意点

現在は新型コロナウイルスの影響により、通常より便数が少なく、且つ乗客数減少に伴う小型機の割合が多くなっている。本測定結果はこれらの状況下での結果であることに留意する必要がある。

測定結果概要（第2回目）

1 調査地点

地点名	住所
青南いきいきプラザ	東京都港区南青山４丁目１０－１
高陵中学校	東京都港区西麻布４丁目１４－８
本村小学校	東京都港区南麻布３丁目９－３３
白金小学校	東京都港区白金台１丁目４－２６

2 測定期間

令和３年８月１３日～９月１１日（３０日間）

南風運用実施日（１５日間）
※着色されている日が対象

2021 年　8 月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2021 年　9 月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

3 羽田空港Ｃ、Ａ滑走路着陸経路と調査地点の位置関係

青南いきいきプラザ
高陵中学校
本村小学校
白金小学校

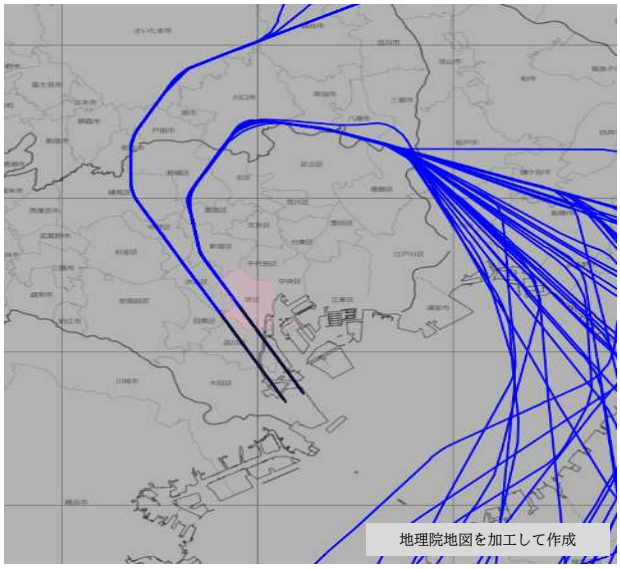

図3-1　Ｃ、Ａ滑走路着陸経路と港区の位置関係

図3-2　Ｃ、Ａ滑走路着陸経路と調査地点の位置関係

４ 国土交通省公表値との比較分析

本測定における最大騒音レベル（以下「実測値」という。）及び同平均値（以下「実測平均値」という。）と国土交通省が公表している最大騒音レベルの推計平均値（以下「推計平均値」という。）との比較分析結果を以下に示す。

表4-1　推計平均値（国が示しているもの）

高度［ｆｔ（ｍ）］	推計平均値［ｄＢ］					
	小型機		中型機		大型機	
	Ｂ７３８	Ａ３２０	Ｂ７６３	Ｂ７８８	Ｂ７７２	Ｂ７７３
2,500（760）	65	69	68	66	71	72
2,000（610）	68	71	71	69	73	74
2,000(610)～2,500(760)	65～71		66～71		71～74	

※推計平均値及び対象機体は（国土交通省発行『実機飛行確認における航空機騒音の測定結果について』を参照）

（１） 港が測定した実測平均値と国が示した推計平均値の比較

各地点において、南風運用が行われた２０日間の機体別の推計平均値と比較した実測平均値を表４－２、機体サイズ別及び高度で幅を持たせた推計平均値と比較した実測平均値を表４－３に示す。

表4-2　機体別実測平均値

調査地点　高度［ｆｔ（ｍ）］	実測平均値［ｄＢ］						比較対象とした高度
	小型機		中型機		大型機		
	Ｂ７３８	Ａ３２０	Ｂ７６３	Ｂ７８８	Ｂ７７２	Ｂ７７３	
青南いきいきプラザ　2,526（770）	67.5(+2.5)	67.6(-1.4)	69.4(+1.4)	69.4(+3.4)	69.6(-1.4)	-	2500ft（760m）
高陵中学校　2,304（702）	69.1(+4.1)	69.2(+0.2)	70.9(+2.9)	70.7(+4.7)	71.1(+0.1)	-	
本村小学校　2,060（628）	68.8(+0.8)	68.8(-2.2)	70.7(-0.3)	70.3(+1.3)	70.5(-2.5)	-	2000ft（610m）
白金小学校　1,845（542）	67.0(-1.0)	66.9(-1.1)	68.5(-2.5)	68.5(-0.5)	67.7(-5.3)	-	

※推計平均値が着陸経路直下となるため、各地点ともに、着陸経路が近いＣ滑走路着陸機を対象とする。

※実測平均値が推計平均値を超えた値を着色

※実測平均値の右括弧は実測平均値と推計平均値の差

※今回の結果は、各調査地点と国が示す推計平均値を比較しているが、飛行高度、ならびに飛行経路からの距離等が異なるため、参考値となる。

表４－２の機体別の推計平均値と比較した場合では、高陵中学校において、小型機及び中型機の多くの機体（５機体）で推計平均値超えが確認された。また、青南いきいきプラザでは３機体が推計平均値を超えていた。

白金小学校においては、着陸経路から離れていることもあり、全ての機体で推計平均値を下回っていた。

表4-3　機体サイズ別実測平均値

調査地点	実測平均値［ｄＢ］			比較対象とした高度
	小型機	中型機	大型機	
青南いきいきプラザ	67.5	69.3	69.4	2500ft（760m）
高陵中学校	69.1	70.8	70.7	
本村小学校	68.8	70.5	69.8	2000ft（610m）
白金小学校	67.0	68.5	67.2	

※推計平均値が着陸経路直下となるため、各地点ともに、着陸経路が近いＣ滑走路着陸機を対象とする。

※青南いきいきプラザ、高陵中学校、本村小学校は、2,000～2500ft内における実測平均値を算出した。

※白金小学校は1,500～2,000ft内における実測平均値を算出した。

※実測平均値が推計平均値を超えた値を着色

※今回の結果は、各調査地点と国が示す推計平均値を比較しているが、飛行高度、ならびに飛行経路からの距離等が異なるため、参考値となる。

表４－３の機体サイズ別及び高度で幅を持たせた推計平均値と比較した場合では、各地点において、実測平均値が推計平均値を超えることはなかった。

5 まとめ

（1） 地点別測定結果

南風運用時の羽田空港着陸機を対象とした地点毎の測定結果を表５－１に示す。

表5-1　測定結果

調査地点	実測値［ｄＢ］						騒音発生回数［回］			高度	
	全体		C滑走路着陸機		A滑走路着陸機		全体	C滑走路着陸機	A滑走路着陸機		
	最大値	平均値	最大値	平均値	最大値	平均値				［ｆｔ］	［m］
青南いきいきプラザ	74.5	68.3	74.5	68.2	66.3	62.6	641	625	16	2,569	783
高陵中学校	75.0	69.0	75.0	69.7	65.6	63.8	682	680	2	2,330	710
本村小学校	74.4	68.9	74.4	69.4	71.7	69.6	704	702	2	2,083	635
白金小学校	76.0	67.6	76.0	67.4	68.5	65.1	715	675	40	1,858	566

※高度はC滑走路着陸機の平均高度

本測定における実測値の最大値は、白金小学校の７６．０ｄＢとなった。騒音発生源は中型機のＢ７８８であり、着陸通過時に稀に発生される笛吹きのような音により、通常の飛行音よりも高い騒音レベルで観測された。

全体の実測平均値は、高陵中学校が最も高く、６９．０ｄＢとなり、最も低かった地点は、白金小学校の６７．６ｄＢであった。A滑走路着陸機を除く実測平均値は、飛行経路に近く、且つ羽田空港に近づく（平均高度の低下）に連れて高い値となった。値としては、高陵中学校の６９．７ｄＢ、続いて本村小学校の６９．４ｄＢ、そして青南いきいきプラザの６８．２ｄＢとなった。白金小学校については、両滑走路着陸機の飛行経路から離れているため、他の３地点に比べて、実測平均値は低い値となった。

騒音発生回数を比較すると、青南いきいきプラザが他の地点と比べて最も少ない結果となった。この結果については、設置場所付近にある室外機が９時頃から２０時頃まで稼働しており、暗騒音レベルが約５～１０ｄＢ上昇したことが要因と考えられる。（通常時：約４５ｄＢ、室外機稼働時：約５５ｄＢ）

（2） 国土交通省公表値との比較分析

国土交通省が公表している推計平均値と本測定における実測平均値を６機体（大型、中型、小型で各２機体）で比較した結果、青南いきいきプラザでは３機体（Ｂ７３８、Ｂ７６３、Ｂ７８８）、高陵中学校では５機体（Ｂ７３８、Ａ３２０、Ｂ７６３、Ｂ７８８、Ｂ７７２）、本村小学校では２機体（Ｂ７３８、Ｂ７８８）が推計平均値を超え、この中でもＢ７３８、Ｂ７８８は白金小学校を除く各地点で推計平均値を超えていた。

白金小学校においては、着陸経路から離れていることもあり、６機体全てで推計平均値を下回っていた。また、大型機のＢ７７３については、欠航便や退役が徐々に進んでいる影響から、今回の測定で観測することはなかった。

（3） その他就航状況等

本測定期間中における羽田空港への到着便予定数は、国内線、国際線を合わせて２０，００８回であったのに対し、着陸数は１３，１２７回であり、就航率は６５．６％であった。羽田空港C滑走路着陸機の大きさ割合は、大型機８．３％、中型機２５．１％、小型機６６．６％であった。通常運行時の割合と比べると、小型機の割合が多く、大型機の割合が少ない結果となった。

（4） 本測定結果での留意点

現在は新型コロナウイルスの影響により、通常より便数が少なく、且つ乗客数減少に伴う小型機の割合が多くなっている。本測定結果はこれらの状況下での結果であることに留意する必要がある。

測定結果概要（前年度との比較）

1 最大騒音レベル（実測値）の比較

２０２０年２０２１年それぞれ年２回の実測値の調査結果を表１－１に示す。

表1-1　実測値　　単位：［dB］

	２０２０年 １回目	２０２０年 ２回目	２０２１年 １回目	２０２１年 ２回目
青南いきいきプラザ	-	75.6	73.9	74.5
やすらぎ会館	-	72.5	72.8	-
西麻布いきいきプラザ	-	75.4	76.5	-
高陵中学校	77.8	80.4	75.6	75.0
本村小学校	77.5	-	76.9	74.4
白金小学校	-	73.4	74.2	76.0

調査地点基準で見ると、４回調査が実施されたのは高陵中学校のみであるため、当該測定点について比較すると、２０２１年の方が数値は低いが、実測値の値は元々ばらつきが大きいことがあり、その点を考慮すると、この結果における値の差で実測値が低下したと評価することは難しい。

他の測定点についても測定データが完全に揃っているものではないが、同様のことが言える。

2 実測平均値の比較

２０２０年２０２１年それぞれ年２回の実測平均値の調査結果を表２－１、表２－２、表２－３、表２－４に示す。※Ｃ滑走路着陸機を対象

表2-1　実測平均値（2020年1回目）

	実測平均値[ｄＢ]		
	小型機	中型機	大型機
青南いきいきプラザ	-	-	-
やすらぎ会館	-	-	-
西麻布いきいきプラザ	-	-	-
高陵中学校	69.7	71.4	73.4
本村小学校	69.4	71.3	73.1
白金小学校	-	-	-

表2-2　実測平均値（2020年2回目）

	実測平均値[ｄＢ]		
	小型機	中型機	大型機
青南いきいきプラザ	68.0	69.5	71.3
やすらぎ会館	66.5	68.2	69.1
西麻布いきいきプラザ	69.1	70.8	72.5
高陵中学校	69.1	70.9	73.0
本村小学校	-	-	-
白金小学校	67.0	68.3	69.6

表2-3　実測平均値（2021年1回目）

	実測平均値[ｄＢ]		
	小型機	中型機	大型機
青南いきいきプラザ	67.8	69.7	69.9
やすらぎ会館	66.5	68.0	68.0
西麻布いきいきプラザ	69.3	71.0	70.4
高陵中学校	69.5	71.3	70.8
本村小学校	69.3	70.9	70.7
白金小学校	66.9	68.7	68.1

表2-4　実測平均値（2021年2回目）

	実測平均値[ｄＢ]		
	小型機	中型機	大型機
青南いきいきプラザ	67.5	69.3	69.4
やすらぎ会館	-	-	-
西麻布いきいきプラザ	-	-	-
高陵中学校	69.1	70.8	70.7
本村小学校	68.8	70.5	69.8
白金小学校	67.0	68.4	67.1

各地点とも、大型機の実測平均値を昨年度と比較すると、平均して約２.３ｄＢ低くなった。要因としては、音の大きいタイプの大型機の退役によるものと考えられる。中型機や小型機については、昨年度とほぼ同様の結果となった。